

手彫鳥 15 銭 (ハ) ボルミダカバー

川原 啓一郎

シティ・オブ・ペキン号により運ばれた、1877年2月28日イタリア系絹商人G・ボルミダ差立ての仏国リヨン在住デュプレイ・バライ宛てカバーである。

カバーにはネギ5銭と鳥15銭の合計20銭が貼られており、当時仏国までの書状15gまでが10銭だったことから2倍重量便と思われる。

切手は横浜ポジYで抹消され、朱のPAID ALL印が差立証示印として押印されている。なお、カバー左上部にある「10. CENTS」朱印は、この年の6月20日に日本がUPUに加盟し、以降米国から欧州宛の追加料金を必要としなくなるため、5月25日の便を最後に見られなくなった。

横浜 1877/2/28 → サンフランシスコ 3/18 → パリ 4/8 → リヨン 4/10



裏面コピー (70%縮小)

